

【会長賞】

1 五十嵐 貞一（鶴岡市在住）「盛秋の流れ」



【審査員講評】

人口的につくられた丸い堰堤（えんてい）ですが違和感がなく、清流と秋色に映り込みが自然の豊かさを実感させられる一枚となりました。

水の美しさが際立っています。

【優秀賞】

2 武谷 捷夫（鶴岡市在住）「安らぎの刻」



【審査員講評】

大きい背中と小さな背中がいいですね。

視線がカヌーに向けられ、人物を左に寄せることで画面構成がまとまり、川が開けました。夏の休日、ホッとする写真です。

3 三浦 一喜（鶴岡市在住）「県境の夜明け」



【審査員講評】

窪地（くぼち）にたまった朝霧の色で手前はまだ夜が明けないブルー、ピンクに染まった夜明けの対比がおもしろいです。

露出やフレミングを考えさせられる撮影だったと思います。

【入選】

4 木村 東仁（岩手県一関市在住）「白と紅の水しぶき」



【審査員講評】

見事な濃い青と飛沫（しぶき）の白と紅葉と贅沢な被写体ですね。豊富な水資源を感じます。

風景はどう切り取るかが重要ですが、横写真も見てみたいものです。

【副会長賞】

1 遠山 勝行（村上市在住）「春を航る」



【審査員講評】

春を代表する、萌黄色の山が見事なうえに川の大きさにびっくりです。

贅沢をいえば点景のカヌーが手前に寄っていると良かったと作者も思ったことでしょう。

【優秀賞】

2 田村 昭一（村上市在住）「いやしの森」

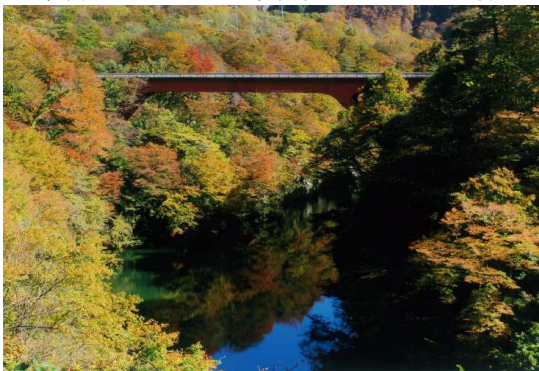


【審査員講評】

まだ新しいブナ林で新鮮さが感じられます。

木肌の陰影によって立体感が出て見飽きず、森の中にずっと居たくなるような作品です。

3 貝沼 カツヨ（村上市在住）「スーパー林道の秋」



【審査員講評】

立派な橋と対比して山深さと川に映った青空と紅葉。まさに朝日スーパーラインらしさが出ています。

晴れた日の紅葉は陰影が強いので、露出をどこに合わせるのかが難しい撮影です。

【入選】

4 伊與部 順一（村上市在住）「秋旅」



【審査員講評】

美しい色合いの作品です。

こういった場面に目を向け、シャッターを切ったのが良いですね。

水面の周辺と中央部分の色に差があるのが気になりました。